

参考：保護者アンケート結果【2学期の結果です。ご覧ください】

<全般考察>

全体的には、設問1から設問15までの設問において、A評価及びB評価の肯定的評価については80%以上の評価をいただきました項目は14項目でした。設問11「子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣が身につけている」についてが肯定的評価75.5%という結果でした。

大明小学校の教育活動について保護者の御理解・御協力、地域の方々の学校支援ボランティアや安全パトロールなどいろいろな面での御支援をしていただいたことは、誠に心強く、それが今回の結果にもつながったものと、心より感謝申し上げます。

第1回において、肯定的評価が100%であった項目が2つありましたが、今回は、肯定的評価が100%項目はありませんでした。しかし、肯定的評価が90%を超える、高い評価をいただいた項目は15校項目中10項目であり、3分の2において非常に高い評価を得られたこと、7月の第1回保護者アンケートの結果に比較し、今回の結果の方が向上した項目も10項目あったことは、大きな成果と感じ、大変喜びを感じているところであります。

一方、肯定的評価が80%以上ではあったものの、C評価及びD評価の否定的評価が15%を超えるものが、設問5「学校は子どもについて悩みや心配事を相談しやすい」、設問14「子どもは、家庭や地域の中で、あいさつをしている」の2項目あり、設問11を含んで3項目において否定的評価が15%以上でした。しかし、7月に行われた第1回のアンケートでは6項目あったことを考えると、その数は半分に減ったことになり、少しずつですが前進をしている結果を示すことが出来ました。

今回は、PTA役員51名中49名(96.1%)の方々から御協力をいただきました。誠に感謝申し上げます。今後とも、本校教育活動についてより良い方向に向かっていきますよう、御支援・御協力の程よろしく願いいたします。

<学校教育・学校経営・学校運営について（設問1～8）>

考察1

第1回保護者アンケート同様に、設問1から設問8については、8項目中5項目が90%以上の肯定的評価をいただきました。また、設問4「学校では、子どもの長所や個性を理解し、教育に当たっている」、設問6「学校は、子どもについての悩みや心配事に適切に対応してくれる」は前回アンケートでは否定的評価が15%以上になっていましたが、今回のアンケートでは肯定的評価が85%を超える良好な結果となりました。また、設問5「学校は、子どもについての悩みや心配事に適切に対応してくれる」についても、第1回アンケートに比べて、肯定的評価が多くなりました。

このことは、先生方の地道な教育活動と保護者の皆様方との連携・御支援の成果であり、大変感謝申し上げます。

今後の改善策

考察でも既述いたしました通り、設問4、設問5、設問6について、少しずつではあるものの着実に前進していることがうかがわれます。一方、保護者アンケート記述欄に「（保護者等への配付通知など）約3週間前と心がけているということですが、それでも少し遅く思います。」というご意見もございました。運動会や地域ふれあい道徳公開、個別懇談などについては、あらかじめ第一次案内を先に配付し、1週間くらい前に第二次案内を配布するなど工夫も行ってまいりました。これからもきめ細かく教育活動を粛々と行い、常に保護者の方々と連携・協力、またご支援を得ながら、学校・家庭・地域が「チーム大明」として、子どもたちの成長に力を尽くしていきたいと考えています。

<子どもの様子について（設問9～15）>

考察2

設問10～14については、子ども達に道徳性や社会性が身についているかどうかを尋ねた質問であり、設問15は家庭と学校との連携を尋ねた質問です。

全体考察でも既述した通り、設問11「子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣が身につけている」は肯定的評価が80%を割り込み、75.5%となってしまいました。保護者アンケートの記述欄には、「スポ少の練習があるとどうしても寝るのが遅くなってしまう。」「保護者としてしっかりと基本的生活習慣ができていないので、反省し、改善していきたいと思います。」などの御意見もあり、基本的な生活習慣については関心があるものの、その事情についても読み取ることが出来ました。

考察3

設問14「子どもは家庭や地域の中であいさつをしている」は、社会生活をスムーズに行っていくうえでの慣習や人間関係を円滑にするためのコミュニケーションの力について尋ねているものですが、これらの内容は大人社会の中でも求められるものです。

今回の保護者アンケートにおいては肯定的評価が81.6%と、第1回保護者アンケート比べて、さらに下回ってしまいました。一方で、「知り合いが、甲西地区の子は小・中学校ともよく挨拶をしてくれると褒めてくれました。」というご意見もありました。

気持ちの良いあいさつは、お互いの心を温かくする大切なコミュニケーションです。お互い気持ちの良いあいさつができるようにしていきたいと思います。

今後の改善策

今年度で7回目となった「全国学力・学習状況調査」における「児童・生徒質問紙」における基本的な生活習慣と学力に、明らかな相関がみられ、基本的な生活習慣ができていない児童・生徒の学力が高いことが明らかとなっています。

バランスのとれた食事、質の良い睡眠は授業への集中や意欲へとつながります。今後とも学校の保健目標における行動目標の健康三原則（食事・運動・睡眠）の達成に向けて、忙しい朝ではありますが、少し早く起きてみんなで朝食を食べたり、早く寝て質の良い睡眠をとらせたりするなど、御家庭でのルール作りを推奨していきます。

あいさつ運動については、今年度の児童会選挙においてどの候補者からも公約の一つとして挙げられていました。おとなが、「あいさつをしなさい」と指導をするよりも、児童会が中心となってあいさつ運動についての工夫を行い、児童の中から自発的に爽やかなあいさつができるように取り組んでいきたいです。また、家庭とも連携を図り、大人が率先して、「おはよう」「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」など、自然と子どもに声かけをしていただけるようお願いをしたいと思います。

考察4

設問15「学校と家庭は、連絡や意思の疎通が図られている」は、前回アンケートに比べて、今回は大幅に肯定的評価が高くなり、93.9%と、90%を超えることが出来ました。家庭と学校の連絡・意思疎通を図り、同じ方向を向いて児童の指導に当たることは、児童のより良い成長や人格の形成に大変良い影響を与えることと考えます。

今後の改善策

「学校側から保護者に対して低姿勢すぎると感じることもあり、互いにけん制し合っているように思えて、意思の疎通が図られているようには感じ取れない。」旨の御意見がありました。教員・保護者が互いに誠意をもって対応することが大切ですが、ときにそれが上記のように感じられることがあるのではないかと思います。誠意ある対応を心がけながらも、子どものためにぎっくばらんに連絡・相談し合う関係づくりを心がけていきます。